

# 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from a week to 3 months)

記入日/Date: 2025/10/10

■ID: D250001

■参加プログラム/Program: AUA Lecture Series 2025

■プログラム情報/Program info.: [https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/s0501\\_00083.html](https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/s0501_00083.html)

■派遣先大学/Host university: マラヤ大学(オンライン)

■プログラム期間/Program period (YYYY/MM/DD): 2025/8/19 ~ 2025/9/24

■東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 農学生命科学研究科

■学年(プログラム開始時)/Year at the time of Study Abroad: 修士1年

## プログラムについて/About the program you participated in

■参加を決めるまでの経緯/How and why did you decide to participate?:

前期のゼミで英語での発言参加が思うようにできなかったため、機会を増やしたいと考えていたところ、大学からのプログラムの案内メールがあり、参加を決めました。

■概要/Overview:

予習・授業: 事前に各回の授業のテーマが示されているのみで資料等は配布されませんでした。ただし自分の専門領域との関連について自分なりに考えてから講義に臨むように心がけました。

復習のスタイル: 毎回エッセイを提出することを推奨されました。提出必須ではありませんでしたが、自身の考えを纏めるよい機会になるため、できる限り提出するようにしました。

■プログラム外で行った交流活動をすべて教えてください/Activities you took part in other than this program:

特に何もしていない

■プログラム外で行った交流活動について、具体的に教えてください/Details of the activities you chose in other than this program:

互いに連絡し合う手段について知らされなかったため

■サポート体制について/ Support System:

特にありませんでした。

## 参加前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before participation

■プログラムへの参加手続き/Procedures for participation:

指定された所属情報等をメールするのみで、特に提出物はありませんでした。

■東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo:

特別な手続きは特にありませんでした。

■語学関係の準備/Language preparation:

toefl80 toEIC970 で、会話がとくに苦手でしたが、特に準備はしませんでした。

■準備段階やプログラム参加中に役立つウェブサイト・出版物/: Helpful Websites and Publications

費用・奨学金に関すること/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■参加に要した費用について/Expenses of participation:

無料でした。

■プログラム参加のための奨学金の受給有無/Scholarships to participate:

受給しなかった。

■奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships:

■受給金額(月額)/Monthly stipend:

■奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships?:

プログラムを振り返って/Reflection

■プログラムに参加したことの意義、その他所感/Impact of the participation on yourself or your thoughts:

サステナビリティについて、さまざまな専門領域の先生方の視点や最新動向に触れられたことには、普段の授業では得られない貴重な機会となりました。各国の参加者の積極的な姿勢も刺激になりました。

■オフライン(渡航を伴う留学)プログラムとの比較/Comparison with Offline (Study Abroad with Travel) Programs:

オフライン留学経験はありません。

■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting:

海外の大学で授業を取る経験ができて、次の留学プログラムへの参加の動機が生まれた。

■進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned):

■今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants:

オンラインプログラムの参加は負担が少ないのでぜひ参加するべきだと思います。